

基本的考え方～見直し等に係るまとめ

		基礎的研究 ※疾患関連以外目的の研究（いわゆるエンハンスメントなど）は容認しない	
胚の種類 検討対象		余剰胚 （不妊治療のために作られた体外受精卵であり 廃棄されることの決定したヒト胚）	新規胚 （研究材料として使用するために新たに受精により 作成されたヒト胚）
生殖補助医療研究目的 での作成・利用		基本的考え方において容認 基本的考え方を踏まえ、研究（対照群 や観察研究を含む）を容認	基本的考え方に基づき「ART指針」を制定 基本的考え方を踏まえ、研究（対照群 や観察研究を含む）を容認
ゲノム編 集技術等	（目的） 生殖補助医 療研究	第一次報告に基づき「ゲノム編集指針」を制定	第二次報告に基づき「ART指針」を改正
	（目的） 遺伝性・先 天性疾患研 究	第二次報告に基づき「ゲノム編集指針」を改正 第二次報告に対照群への言及があり、容認*	第三次報告において容認 対照群について補遺で対応
核置換技術 （目的） ミトコンドリア病研究 （新規胚については卵子間核置換 胚の作成を含む。）		第二次報告に基づき「特定胚指針」を改正 対照群について補遺で対応	第三次報告において容認 対照群について補遺で対応

*：ゲノム編集技術等を利用する研究の対照群は容認し、関係指針を準用する。

受精胚核置換について



胚



CST I 第二次報告及び第三次報告における受精胚核置換の範囲



胚性細胞



今回の補遺で追加する受精胚核置換の範囲

